

熱中症による救急搬送状況（R8. 5. 1～6. 28）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和8年5月1日（調査開始日）から6月28日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

- 令和8年5月1日から6月28日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、96人（速報値）でした。
- 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人の順。
 - ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。
- なお、死亡者は0名。

死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路の順。

住 居 敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等 道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等 田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関 幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕 不特定者が出入りする場所の屋内部分
（例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕 不特定者が出入りする場所の屋外部分
（例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路 一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他 上記に該当しない項目

- 直近1週間（6月22日～6月28日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
10	0	0	1	3	6	0	1	4	5	0
発生場所										
住居	工場、工事現場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場所		道路	その他			
				屋内	屋外					
3	0	0	1	1	0	3	2			

県内の熱中症による救急搬送状況(R6～R8)

1 年齢及び傷病程度(初診時)

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～9/30)	853	0	1	55	237	560	1	29	272	551	0
	(構成比)	0.0%	0.1%	6.4%	27.8%	65.7%	0.1%	3.4%	31.9%	64.6%	0.0%
令和8年 (5/1～6/28)	96	0	2	8	29	57	0	5	25	66	0
	(構成比)	0.0%	2.1%	8.3%	30.2%	59.4%	0.0%	5.2%	26.0%	68.8%	0.0%
[参考] 対R7同期比 (5/1～6/29)	▲ 99	+ 0	+ 1	▲ 4	▲ 27	▲ 69	+ 0	+ 4	▲ 38	▲ 65	+ 0
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/30)	▲ 17	+ 0	+ 1	▲ 8	+ 5	▲ 15	+ 0	+ 2	▲ 10	▲ 8	▲ 1

【集計対象】調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～9/30)	853	373	84	22	15	48	115	122	74
令和8年 (5/1～6/28)	96	25	5	7	6	8	15	19	11
[参考] 対R7同期比 (5/1～6/29)	▲ 99	▲ 67	▲ 15	+ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 5	▲ 3	▲ 7
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/30)	▲ 17	▲ 17	▲ 4	+ 5	▲ 4	+ 1	▲ 1	+ 2	+ 1

